

姉妹都市シヨウニー市訪問団



サンタ・フェ・デポにて

スケジュール

- 【10月22日(火)】
- ◆秋田空港発
- ◆羽田空港着・発
- ◆成田空港着・発
- ◆アメリカ・ダラス空港着
- ◆入国手続▼ホテル内レストランにて夕食
- 【10月23日(水)】
- ◆ダラス発
- ▼ダラス市内観光
- ◆シヨウニー市着
- ▼ホストファミリーと対面▼セント・アンソニー病院で歓迎会

- 【10月24日(木)】
- ▼TDKにて朝食および見学ツアー▼ノース・ロック・クリーク校を訪問
- ▼シヨウニー・モールで買物・ホストファミリーと自由行動



- 【10月25日(金)】
- ▼ダウンタウン散策▼サンタ・フェ・デポ見学▼市役所、警察署、消防署見学



- 【10月26日(土)】
- ▼平和庭園、メイビーゲラー美術館見学▼バーベキュー、乗馬体験▼お別れ会



- 【10月27日(日)】
- ▼終日、ホストファミリーと自由行動
- 【10月28日(月)】
- ◆シヨウニー市発
- ◆ダラス空港着・発
- 【10月29日(火)】
- ◆成田空港着・発
- ◆羽田空港着・発
- ◆秋田空港着
- ◆にかほ市着

体験レポート

訪問団員から提出を受けた報告書の一部を抜粋してご紹介します。

【10月22日】▼訪問団活動初日心はずでにシヨウニー市にありました。▼アメリカまで飛行機で約11時間の長旅。寝ようと思いを閉じますが興奮のあまり寝付くことができません。僕はこれから始まるアメリカでの体験に胸を躍らせました。

(須藤 伶)

【10月22日】▼人生で初めて乗る飛行機。荷物検査は国内線よりも国際線のほうが厳しく、それが印象に残っています。▼約11時間のフライトを終え、ついにアメリカに入国、その日の夕食は、アメリカにきたのだと実感できるようなサイズのハンバーガーでした。

(山内 健史)



シンボルでした。

(阿部 翔弥)

▼学校訪問では、チアリーダーからダンスを教えるというなどしたことが印象に残っています。また、アメリカでは、トイレのドアが非常に小さく、日本との違いを感じる事ができました。

(菊地 未海)

【10月25日】▼私は、憧れだったアメリカに行き、自分を成長させる事ができたと思います。この訪問で心に残ったことは、TDKとノース・ロック・クリーク校を訪問したことです。▼特にTDK見学では、にかほ市とシヨウニー市を結ぶ企業の偉大さに改めて驚かされました。

(白瀬 菜々)

【10月25日】▼初の海外という事で、見るものすべてが新鮮で、特に広大な景色は、まさにアメリカというものを実感させられるものでした。▼日程4日目には、サンタフェ・デポに行きました。サンタフェ・デポは、昔の駅舎で、歴史やおもむきを感じることができ、まさにシヨウニー市の

(斎藤 杏)

ーとの自由行動です。買い物などでも私は写真を撮影することに夢中で、その時の写真を見返すと、改めて外国にいたのだと感じます。▼また、アメフト観戦ではハーファタイムの時にフィールドの中央で私たちが紹介されたことは最高の思い出です。

(須田 華音)

【10月28日】▼お別れの日集合場所に到着した時にはすでにみんなが別れを惜しみあっていました。それを見ていたら私ももらい泣きをしてしまいました。▼飛行機の出発時刻が近づくにつれホストファミリーやシヨウニーの方々への感謝の気持ちが増え、泣いてしまいました。それだけシヨウニーで過ごした5日間は充実していたのです。

(熊谷 海友)

【全期間を通して】▼アメリカに到着後、ガイドの人の話や景色を見ているうちに、海外にきたという実感が沸いてきました。▼ホームステイ先では、バスケットやトランプなどのゲームをしながら心の距離を縮め

(熊谷 二千翔)

【10月23日】▼今回、この訪問団に参加するにあたり2つの目的がありました。英語で話す感覚を取り戻すことと、日本とアメリカの違いを考えることでした。▼ダラス観光では、様々な違いを実感することができました。ダラスでは、広大な土地を利用したまちづくりがなされていて、とても広く、アメリカを感じる事ができました。

(鈴木 遼馬)

【10月23日】▼ホストファミリーと対面したとき、僕はホストの笑顔を見て、優しい人なんだと感じることができました。歓迎会ではたくさんの人たちが僕たちを歓迎してくれてとても嬉しかったです。▼僕は、この訪問での経験やたくさん思い出を、いつまでも心に残してこれからの人生に生かしたいと思います。

(佐々木 大輔)

【10月24日】▼日程3日目、私たちはシヨウニー市のノース・ロック・クリーク校を訪問しました。学校の雰囲気は日本とはまるで違い、